

国語科 小学校 4年

単元名 音読げきをしよう
「白いぼうし」
光村図書「国語四上」

単元の流れ（全8時間）

【第1次】

主な学習内容

- ◇第1時 ・全文を通読し、初発の感想を交流する。
・「場面の様子や登場人物の気持ちが伝わるように音読げきをしよう。」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。
- ◇第2時 4つの場面ごとに、登場人物と主な出来事を整理して、物語のあらすじをとらえる。

【第2次】

主な学習内容

- ◇第3時 第1場面 夏みかんに込められた松井さんの思いを会話や行動をもとに読み、音読の仕方を考える。
- ◇第4時 第2場面 白いぼうしと松井さんの関係や松井さんの人柄について、色やにおいの表現などをもとに読み取り、音読の仕方を考える。（本時）
- ◇第5時 第3場面 女の子と松井さんの行動や会話を手がかりに、女の子や場面の様子を読み取り、音読の仕方を考える。
- ◇第6時 第4場面 たくさんのちょうが飛んでいる様子や、聞こえてきた声について、想像を広げながら読み、音読の仕方を考える。

評価問題

CLICK

【第3次】

主な学習内容

- ◇第7時 グループごとに場面を決めて、役割や読み方を相談して、練習する。
- ◇第8時 グループごとに音読げきを発表し、感想などを交流する。

単元目標

場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて叙述を基に想像しながら読む。

単元構成の意図

物語を読んで感じたことや気付いたことなどを音読劇で表現することを学習課題として設定する。

第1次では、4つの場面ごとに登場人物と主な出来事を整理することで、物語全体を大まかにとらえられるようにする。

第2次では、場面ごとに、人物の行動や会話、情景などを叙述を基に想像しながら読み進め、音読の仕方についても、ノートに書き込んでいく。

第3次では、グループごとの音読したい場面を決め、第2次の学習を基に音読の仕方を考えて練習し、発表会を開く。

単元を通した具体的な目的を持って学習に取り組むことで、文章を主体的に読み進める力を身に付けさせたい。

「活用」の力を育てるポイント

①どのように書かれているかに着目させ、表現や叙述と関係付けて、場面の様子や登場人物の相互関係をとらえる力を伸ばす。叙述に根拠を求めて考える学習活動を展開していくことが大切である。

②書くことを学習の中に位置付ける。表現や叙述の効果に気付いたら、登場人物の様子を文中の表現を用いて書く活動を取り入れる。優れた表現を自分の文章表現の中にも使えるようにさせる。

HOME

本時の流れへ

授業展開例へ